



2026年2月4日

各位

会社名 株式会社共同紙販ホールディングス
代表者名 代表取締役会長 郡 司 勝 美
(コード番号 9849 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役専務執行役員
経営企画本部長 坂 本 浩 紀
(TEL 03-5826-5171)

投資有価証券売却（特別利益）の計上及び 2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、保有する投資有価証券の一部を売却し、投資有価証券売却益（特別利益）を計上することといたしましたので下記のとおりお知らせします。また、2025年5月8日に公表した2026年3月期の通期連結業績予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 投資有価証券売却益（特別利益）の計上について

(1) 投資有価証券売却の理由

政策保有株式の見直しによる資本効率の向上を図るため

(2) 投資有価証券売却の内容

- 売却株式 当社保有の上場有価証券1銘柄
- 売却時期 2026年1月
- 投資有価証券売却益 60百万円

2. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 17,000	百万円 60	百万円 80	百万円 50	円 銭 73.97
今回修正予想（B）	16,300	△85	△50	20	29.59
増 減 額（B－A）	△700	△145	△130	△30	—
増 減 率（％）	△4.1	—	—	△60.0	—
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	16,888	△10	27	28	41.45

(2) 修正の理由

売上高は、イベントやインバウンド関連使用の用紙需要は順調に推移したものの、伝票・帳票類といった情報用紙需要の減少が大きく影響し、前回予想を下回る見込みです。

利益面についても、引き続き販管費の削減に取り組んでいるものの、紙需要の減少と仕入コストの高騰により、営業利益、経常利益ともに損失の計上に至る見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は、上記1.の特別利益を織込み前回予想から30百万円下回る20百万円を予想しております。なお、期末配当予想（1株当たり50円）の変更はありません。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、今後、様々な要因により予想数値と異なる結果となる場合があります。

以上